

幼稚園教職課程

履修年次		具体的な科目名称				到達目標	
		教職に関する科目	教科に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	左記以外の免許状と関係のある科目		
年次	時期						
1 年次	前期	保育・教職入門 または教職入門	音楽Ⅰ	情報処理演習Ⅰ	社会福祉	教員の資質の根幹にかかわる教職の意義及び教員の役割を「教職入門」において学ぶとともに、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について「学習・発達論」で理解することで、教育課程の編成の意義や編成の方法について「カリキュラム論」において具体的に修得する。また、教科に関する科目を履修することで、幼児教育につながるの深い体験的な学習内容を包括的に学習し、幼稚園教員としての基盤を養う。2年間で実践力を身につけるため、入学後すぐに教育実習の事前指導を開始する。事前指導では、15回授業の中で社会人のマナーを確認するとともに、教育・保育現場の見学を	
		学習・発達論	造形美術	英語Ⅰ・フランス語Ⅰ	保育原理		
		カリキュラム論	体育		小児保健A		
		教育実習	国語		ゼミナールⅠ		
			算数		音楽基礎演習Ⅰ		
			生活				
	後期	保育(環境)	音楽Ⅱ	情報処理演習Ⅱ	保育心理学演習	音楽科教育法	領域ごとに保育内容について専門性を高める。11月に行われる教育実習における観察の視点を明確にし、前期に学習した基礎的な事項を保育現場において体験的に学ぶ。
		保育(言葉)			小児保健B	図工科教育法	
		保育(表現・幼児造形)		英語Ⅱ・フランス語Ⅱ	ゼミナールⅠ	体育科教育法	
		保育(表現・身体表現)			音楽基礎演習Ⅱ	国語科教育法	
		保育(人間関係)				算数科教育法	
		教育実習				生活科教育法	
2 年次	前期	教育原理	音楽Ⅲ	健康・スポーツ実習	保育表現演習Ⅰ	理科教育法	昨今の体験的な学習経験が少ない学生の増加に配慮し、前年度の実践的な学習を経た2年次前期に、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を「教育原理」において学ぶ。自身の体験に理論的な意義付けを行うことを目標とする。前年度に引き続き、保育内容に関する科目において学びを積み重ねるとともに、2回目の教育実習において、それまでの学習成果に基づいた実践を行い、指導案作成や設定保育などを通して、教育現場における現状把握と自身の課題解決能力の向上を促す。
		幼児理解		日本の憲法	障害児保育	社会科教育法	
		保育(健康)		情報処理演習Ⅲ	児童館の機能と運営	家庭科教育法	
		保育(表現・音楽)			児童館等の活動内容と指導法		
		教育実習			ゼミナールⅡ		
					総合演習		
	後期	教育方法の理論と実践	国語	健康・スポーツ論	こどもの食と栄養		「教育方法の理論と実践」において教育の方法及び技術の向上改善を行う。また、保護者等に対する保育相談や支援について学び、保育現場で求められる子育て支援の機能を担うため、「保育相談支援」を修得する。卒後の教育現場を目前とした最終学期として、自身の教員としての資質や実践力を評価する「教職実践演習」では、自身の向上のための学び続ける姿勢や態度、卒後の教育現場においても課題解決や教員としての資質向上への研鑽をし続ける力を身に付ける。
		教育相談の理論と方法	生活	情報処理演習Ⅳ	家庭支援論		
		保育内容総論	音楽Ⅳ		保育表現演習Ⅱ		
		保育相談支援			児童の健全育成と福祉		
		教職実践演習(幼・小)			ゼミナールⅡ		
					総合演習		